

男子ソフトテニス部

R4 国体選手選考会(個人)・全三河大会(団体) 結果報告



- ★個人戦 1ペア県大会出場！（久保・浅井組）
- ★団体戦 西三河第6位 全三河本戦出場！

7月2日(土)3日(日)に国体選手選考会西三河予選会個人戦が行われました。

今大会は275ペアが参加し、そのうち26ペアが県大会に出場できます。新チームになって初めての大会ということもあり、それぞれ緊張しながら試合に臨む姿が印象的でした。2年生の久保・浅井、中根・岡本、大山・加藤の3組が4回戦に進み、その中で久保・浅井組がベスト16に入り、県大会出場を決めました！惜しくも負けてしまった2組はともに2-4という悔しい結果でしたが、この悔しさを生かして9月の新人戦に向けて頑張っていきます。

7月22日(金)に行われた県大会では、初めての県大会の舞台に少し緊張した表情でした。得意のサービスゲームが思うように取れず、それでもなんとかレシーブゲームを取りながらゲームカウント2-2と食らいつきました。しかし、良い展開の形を作れてもポイントまでつながらず、そのまま2-4で敗けてしまいました。このレベルの舞台で自分たちのテニスができるように、これからも努力していきたいと思います。

久保・浅井組 1回戦敗退 2-④ 東邦

7月26日(火)27日(水)に全三河大会西三予選の団体戦が行われました。

今大会は32チームが参加し、新チームになって初めての団体戦でした。先輩たちが残してくれたシードをより高めて後輩につなぐために、新チームの挑戦が始まりました。



初戦の豊野高校、2戦目の衣台高校には危なげなく勝利を収め、3戦目の第10シード安城高校戦へ。1本目の中根・岡本が相手校の大將に2-4で惜敗するも、2本目の本田・加藤がストレートで勝利をすると、雰囲気は一気に勝ちムードに。続く久保・浅井はそこできちんと勝利をおさめ、1次リーグ1位通過を果たしました。

全三河予選の2次以降はトーナメントになるため、本戦出場をかけて西尾高校との対戦に挑みました。ここで勝てば本戦出場というプレッシャーからか、2面展開で始まった1本目の中根・岡



本、2本目の久保・浅井がともにゲームカウント0-2という苦しい入り方に。そのまま久保・浅井は相手校の大將の勢いに押し負けてしまいましたが、中根・岡本はそこから巻き返し、見事4-2で勝利し、3本目の本田・加藤に勝負を託します。そして、本田・加藤はデュースの続く接戦ゲームをすべて取りきり、結局ストレートで勝利し、西三河ベスト8、全三河大会本戦の出場権を得ました。

2日目の順位決定戦初戦、4決めは第2シードの強豪私立、愛産大三河高校。久保・浅井は1ゲーム目をストレートで取る良いスタートをきりますが、その後はゲームを取らせてもらえず1-4敗け。中根・岡本はゲームカウント0-3に追い込まれ、そこから上手くゲームメイクをして2ゲーム挽回するも、ファイナルまで持ち込めずに敗け。本田・加藤もストレートで敗け、私立との壁を実感した試合となりました。



その後は5位決定戦に回り、まずは猿投農林高校との対戦でした。2面展開で中根・岡本、久保・浅井がともにゲームカウント1-3という絶体絶命のピンチに。しかしそこから意地を見せてなんと2本ともファイナルに持ち込みます。そのうち1本を取りきり、再び本田・加藤の3番勝負になりました。ただ、相手としては前半の完勝ムードから一転してイーブンの状態に持ち込まれたため、開始から雰囲気はこちらに分がありました。本田・加藤はゲームカウント1-1になっても焦らず、確実なプレーで勝利しました。



最終戦は豊田西高校。昨年からレギュラーとして活躍していた2年生率いる豊田西高校は、絶対的な1年生エースの存在も大きく、思ったようなプレーをさせてもらえませんでした。そして、1,2本目がともに1-4で敗けてしまい、全三河予選は西三河6位という成績で幕を閉じました。悔しい思いもありますが、それでも新チーム初めての団体戦で先輩の記録を越すことができたのは、普段の努力の成果だと思います。この結果に満足はしていないはずなので、今回勝たせてもらったチームに負けない努力をこれからも続け、9月の新人戦でもっとレベルの高いプレーができるようにしていきたいです。

<1次リーグ> 1位通過
 本校 ③-0 豊野 本校 ③-0 衣台
 本校 ②-1 安城



<2次トーナメント>
 1回戦 本校 ②-1 西尾 (④-2、0-④、④-0)
 2回戦 本校 0-③ 愛産大三河 (2-④、1-④、0-④)
 5位決定戦① 本校 ②-1 猿投農林 (④-3、3-④、④-1)
 5位決定戦② 本校 0-② 豊田西 (1-④、1-④)

西三河第6位 全三河大会本戦出場